

農林業情報 農薬の飛散(ドリフト)に注意しましょう

◎ドリフトとは…
 散布した農薬が風に流されるなどして、目的外の作物にまでかかってしまうことです。ドリフトが起きると①作物に登録外の農薬が付着してしまう②農薬成分ごとの使用回数を超えてしまう③農薬使用時期が適切でなくなる—など、残留農薬の原因となります。残留農薬が検出されると、出荷停止や回収を求められることがあります。

◎ドリフト被害を防ぐためには…
【個人でできることの一例】
 ①風のないときに散布する
 ②飛散しにくい剤型を選ぶ(粒剤など)
 ③散布機の圧力や散布量を適切にする
 ④散布器具は使用后、しっかり洗浄する
 ⑤遮へいシートやネットを設置する
 ⑥使用した農薬を書き留めておく
【地域での取り組みの一例】
 ①農薬を見直す(製品によっては、適用作物が多く、収穫間際でも使える薬剤があります)
 ②近隣生産者と互いに連絡を取り合う

◎水稲のカメムシ防除には注意が必要です
 昨年度、市内でカメムシ防除が原因と思われるミツバチへの被害が3件発生しました。水稲カメムシの防除をする際は、次の点に注意してください。
 ①農薬を飛散させない
 ②散布する時期を養蜂家に知らせる
 ③適期に防除を実施する
 養蜂家の皆さんは、ハチが水田に行かないように水場を確保したり、近くの水田所有者や耕作者に巣箱の位置を伝えるなどの対策を取りましょう。
 カメムシ防除の適期は、稲の生育状況とカメムシの発生状況をふまえて7月中旬以降に決まります。詳しくは、農業活性化本部(☎⑩1055)にお問い合わせください。
 また、遠野行政センター3階の遠野普及サブセンター(☎⑩9937)は、「農薬適正使用相談窓口」として、農薬に関するあらゆる相談を受け付けています。気軽にご利用ください。

河童のクゥと夏休み 先行上映会を開催します



遠野を舞台に展開される、愛と優しさあふれるファミリー映画が、この夏、スクリーンに登場します。

不思議な力を秘めた河童のクゥと、小学生の少年・康一との出会いからはじまる物語は、友情、家族、思いやり、人とのつながりといった、大切なことを思い出させてくれます。

- ◇日時＝7月15日(日) 午後5時開場 6時上映開始
- ◇場所＝市民センター大ホール
- ◇入場料金＝無料(ただし、入場整理券が必要です。下記プレイガイドでお求めください)
- ◇プレイガイド＝とぴあ、遠野風の丘、みやもりmm1、市民センター、宮守総合支所、みやもりホール、各地区センター
- ◇問い合わせ先＝市ふるさと交流課(☎⑩2111内線135)

循環器、大腸がん・前立腺がん

検診が始まります

七月二十五日から、循環器健診、大腸がん検診、前立腺がん検診が始まります。

循環器健診は、昨年度から六十五歳以上の人に生活機能評価を実施しています。これは、二十五項目のチェックリストにより、自立した日常生活を送る上で自身の健康状態を見るためのものです。

また、循環器健診と併せて肝炎ウイルス検査を実施します。四十歳の人と、過去に検査を受けていない人が対象です。

循環器健診、大腸がん検診の希望者には受診票が配布されますが、前立腺がん検診は当日の受け付けとなります。

問い合わせ先 市健康福祉の里 保健課成人保健係(☎⑩5111内線18・19)

◇検診日程

検診日	会場	検診日	会場
7月25日(水)	綾織地区センター	8月6日(月)	上郷地区センター
26日(木)	小友地区センター	7日(火)	
27日(金)	附馬牛地区センター	8日(水)	
8月1日(水)	土淵地区センター	9日(木)	遠野浄化センター
2日(木)	達首部多目的研修集会施設(達首部地区センター)	10日(金)	遠野健康福祉の里
	宮守体育館	20日(月)	
3日(金)	宮守体育館	21日(火)	遠野健康福祉の里
	鱒沢就業改善センター(鱒沢地区センター)	22日(水)	
4日(土)	宮守体育館	25日(土)	青笹地区センター
		26日(日)	遠野健康福祉の里

※受付時間は、午前8時半から9時半までと、午後1時から2時までです

◇対象年齢・料金 ※年齢は平成20年4月1日現在。()内は国民健康保険被保険者の金額
 循環器健診…30歳以上、2,000円(1,000円)
 大腸がん検診…35歳以上、800円(400円)
 前立腺がん検診…50歳以上の男性、1,575円
 ※70歳以上の人、老人医療受給者証の交付を受けている人、市民税非課税世帯の人、生活保護を受けている人は、前立腺がん検診以外の検診料金が無料になります。

✂----- 切り取って、目に付くところに貼っておくと便利です ----- ✂

市長ひとこと 総理官邸

先日、総理官邸講堂で開かれた政府主催の「地域のお宝発掘自慢大会」―頑張る地域大集合―と題した催しに出席してまいりました。全国各地で活躍している「地域活性化伝導師」の人たち百五十人ほどを前に、本市の地域づくりの取り組みを発表してきました。

国会審議が大変緊迫している中でしたが、安倍晋三首相をはじめ、渡辺喜美国務大臣など、政府関係者の対応がありました。安倍首相からは「遠野市は頑張っていますね。自信を持ってまちづくりに取り組んで欲しい」とエールをいただき、全国の十九市町が特産品を出展した紹介ブースでは、どぶろくも味わっていただきました。市民の皆さまの懸命な地域づくりの取り組みのおかげで、総理官邸への訪問は今回で三回目。

遠野ならではの『宝』になぞらえて、どぶろくのようにそれぞれの持ち味を活かしながら、ワサビのようにピリツとした緊張感を失うことのないような、そんなまちづくりへ全力投球を誓いながら官邸を後にし、帰庁の新幹線に飛び乗りました。(本田敏秋)